



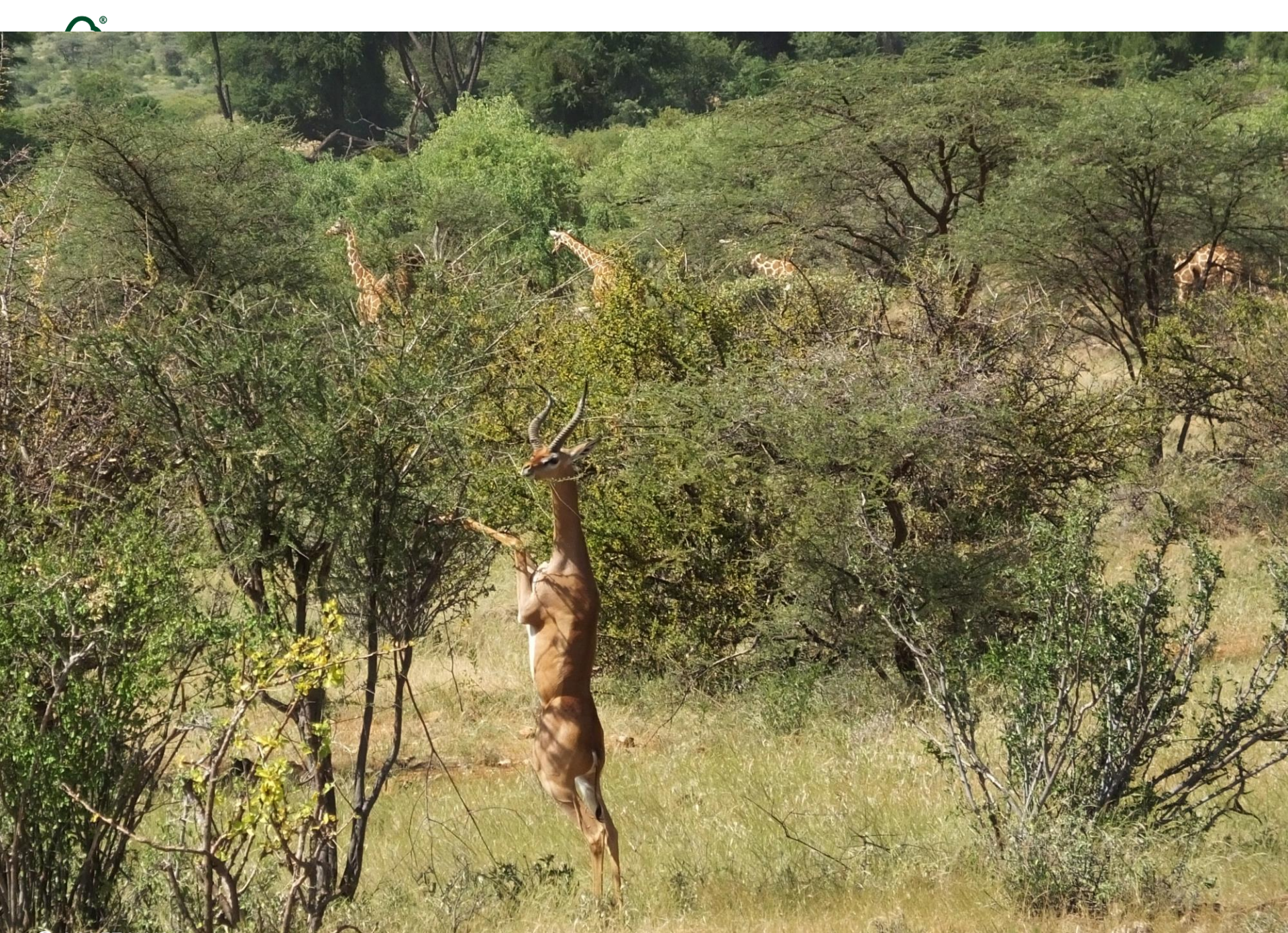


































Text here







不法な薪炭材採取、炭焼き



ガバナンス？
2004年タンザニア南部での違法伐採70%以上

違法伐採の木が日本に流れ込む

2010-2013

- 木材セクター製品：違法リスクの高い製品輸入は2010～2013年にかけておおそ変わらず、丸太換算で12%と推定
- 紙セクター製品：同期間、5%から7%に上昇

(違法木材の取引-日本における取組、チャタムハウスの評価 2014.11)

日本はより厳しい規制を！

非営利団体Environmental Investigation Agency (EIA, 本部米国)はロシア東部の違法伐採を調査。・・・日本の「グリーン購入法」は設立当初は進歩的であったが、その後他の先進国が違法木材輸入に対する実効性のある措置を導入する中、日本は遅れをとっている。

ムピングゴ保全開発イニシアチブ

Mpingo Conservation & Development Initiative

<http://www.mpingoconservation.org/home/>

- 地域コミュニティが持続的な森林管理を行うための支援（南東タンザニア）
- ムピングゴとはスワヒリ語でアフリカン・ブラックウッドを表したもので、この地域では一般的に見られる樹木（学名：*Dalbergia melanoxylon*）
- ムピングゴの材は特別な楽器を作るために優れた品質を有するとして高い価値があり、世界的に最も高額で取引される材のひとつ



- ケニアではムピングゴは既に伐採しつくされたとされ、伐採は禁止
- タンザニアでも、現在横行している違法伐採を止めない限り20年以内にはケニアと同じ運命をたどると予想される







FSC認証取得へ













The mark of
responsible forestry

2009年、FSC森林管理認証取得
2011年、世界初のFSC認証木管楽器誕生

地域社会への貢献

収益:

- 以前は木材の収益は政府⇒5年間で200,000ドル

生活水準・社会基盤:

- 6井戸掘られ水の供給改善
- 6学校建設
- 320着の制服提供
- 看護師と助産師の宿泊施設建設
- 市場に太陽光パネル設置

「MCDIはFSC認証を貧困軽減および森林保全のための革新的な解決策と見る。」

- 最終製品である楽器のわずか1%が木材の値段
- 違法⇒合法⇒環境や社会に貢献する森林管理

Paul OPANGA
FSC東アフリカ地域コーディネーター
(ケニア・ナイロビ)